

# 家財の評価について

## —— 保険金額の設定 ——

保険の目的である家財の評価額の算出につきましては、保険の対象となる方の所有する家財を今あらたに再取得する場合にどのくらい費用が掛かるかを計算いただくか、または下表（家財簡易評価表）をご参照下さい。

この表は、標準世帯の評価額を基に、33㎡前後の賃貸アパート、賃貸マンションまたは賃貸小住宅を対象として作成した目安です。実際の家財の保有状況や家族構成等の実態に即して総合的に判断の上、適宜調整して下さい。

### 家財（新価）基準簡易評価表

家族構成 世帯主の年齢	独身世帯	2名		3名		4名		5名			
		夫婦のみ	夫婦 小人1	夫婦 大人1	夫婦 小人2	夫婦 大人1小人1	夫婦 大人2	夫婦 小人3	夫婦 大人1小人2	夫婦 大人2小人1	夫婦 大人3
27歳以下	180	310	360	400	400	440	480	460	490	530	560
28歳～32歳		450	500	530	550	580	620	590	630	670	700
33歳～37歳		590	640	670	680	720	760	730	770	800	840
38歳～42歳		730	780	820	830	860	900	880	910	950	980
43歳～47歳		860	910	950	960	990	1,030	1,000	1,040	1,080	1,120
48歳以上		920	970	1,000	1,020	1,060	1,090	1,070	1,100	1,140	1,180

#### 上表以外の家財の新価の求め方

◎上表にない家族構成の場合は、夫婦のみの新価に他の家族の新価額を加算します。

上記手順により算出したものは家財の標準評価額であるので、実態に即し、総合的判断の上、必要な場合は適宜調整します。

#### 宝石・美術品・貴金属の取扱い

賃貸住宅家財総合保険では、「貴金属、宝玉および宝石並びに書画、骨とう、彫刻物その他の美術品」で1個、1組または1対の価額が30万円を超えるものにつきましては、お支払いの対象となりません。

夫以外の家族 1人あたりの新価
大人 (夫婦以外の18歳以上の方) 80万円
小人 (18歳未満の子供) 50万円

○賃貸住宅家財総合保険は型販売のため、上表に完全に合致するパターンがない場合があります。